

業務用建物床面積の推移

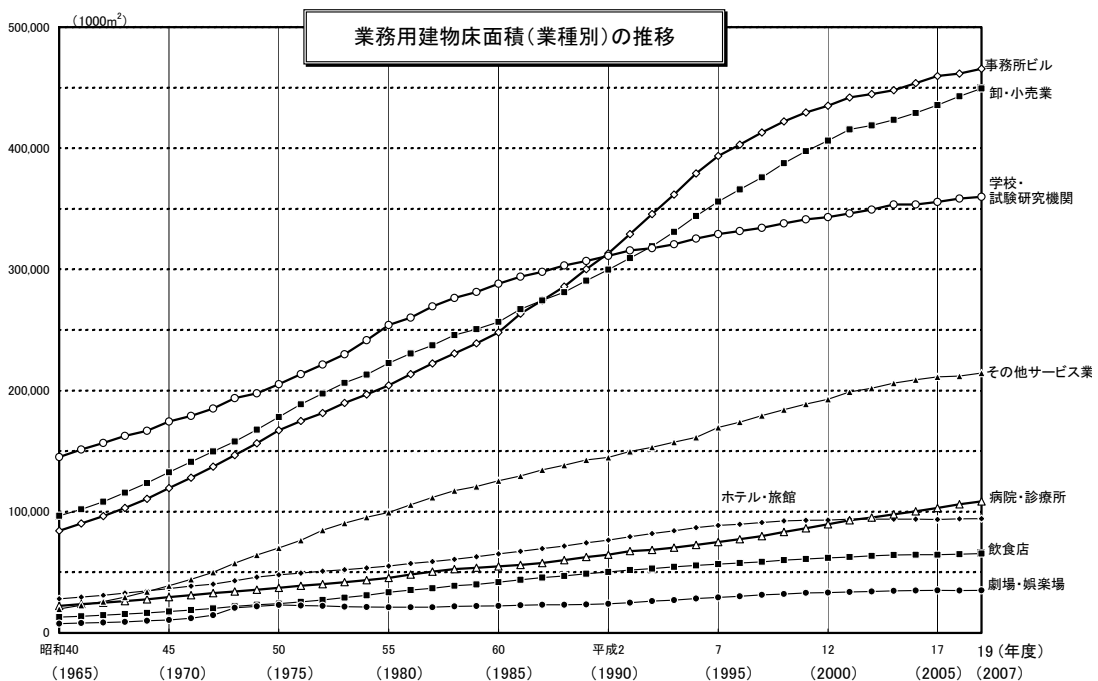
平成 19 年度の業務用建物床面積は 17 億 9,347 万㎡と推計された。伸び率は昨年度を若干上回る前年度比 1.0%増となった。

「事務所ビル」の床面積は 4 億 6,569 万㎡で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比 26.0%を占める。伸び率は前年度比 0.9%増となり、前年度（同 0.4%増）を上回った。事務所ビル全体の約 8 割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積は、前年度比 0.9%増と前年度（同 1.0%増）を若干下回る伸び率となった。

「卸・小売業」の床面積は 4 億 4,948 万㎡で、全体の 25.1%を占める。伸び率は前年度比 1.5%増で前年度（同 1.7%増）を若干下回った。内訳を見ると、卸・小売業の約 8 割を占める非木造の店舗は、同 2.0%増と前年度（同 2.1%増）を若干下回ったものの、堅調に推移している。一方で、木造は併用住宅、店舗ともにここ数年の傾向どおり、伸び率はそれぞれマイナス（同 1.6%減）、横ばい（同 0.3%増）となった。

「学校・試験研究機関」の床面積は 3 億 6,008 万㎡で、全体の 20.1%を占める。伸び率は前年度比 0.4%増と前年度（同 0.8%増）を下回った。内訳を見ると、大学が前年度比 1.9%増、保育所が前年度比 1.8%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学の減少傾向（同 3.0%減）が続いている。

その他の 5 業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比 2.3%増、「その他サービス業」は同 1.2%増と堅調な増加を続けている。一方で「飲食店」は同 0.6%増、「ホテル・旅館」は同 0.2%増と低い伸びとなった。また、「劇場・娯楽場」は同 0.5%増とプラスに転じた。



トピック

